

つながる・ひろがる交流会～豊が丘学区～

日時：令和 2 年 12 月 25 日(金)

午後 2 時～3 時 30 分

場所：名東区役所 講堂

テーマ 「友愛クラブ～独居老人お茶飲み会 老後を楽しく～」

1 概要

<学区の特徴と友愛クラブ設立の経緯について>

豊が丘学区は 5 つの自治会で構成されている。人口は約 5,000 人、世帯数は約 2,400 世帯、自治会加入世帯数は 1,522 世帯である。友愛クラブは、民生委員による友愛訪問以外に何かできることはないかと模索した結果、月に 1 度高齢者が集まってお茶飲みしながら話をして楽しんでもらうという趣旨で平成 12 年に結成された。

<友愛クラブ開催にあたっての工夫について>

毎回開催日の 1 週間前に案内状を配付。対象者が高齢者なので、体調がすぐれない方は出席を控えるよう呼びかけている。

<初期の友愛クラブの開催内容について>

会場は名古屋サンプラザで、講師を迎えての勉強会や食事会を楽しんだりした。食事会においては、その月に誕生日を迎える方のお祝いをしている。また、名東区制 40 周年の際には、黄色いものを身に着けて写真撮影もした。

<開催場所の変更について>

名古屋サンプラザが閉館される見込みとなったので、第 186 回以降は藤の木団地集会所に会場を変更した。毎月第 2 土曜日の午前中に開催し、会費は 100 円としている。毎回 15 人程度の方が集まり、お菓子を食べたり、コーヒーや紅茶を飲んだりしながらお話を楽しんでいる。

<感染症対策について>

体温測定、マスクの着用、手指の消毒、テーブルや椅子の消毒を実施し、体調の悪い方には参加を遠慮していただいている。お茶を飲む時にマスクを外しても、話す時は必ずマスクの着用をしていただくのが重要。

<学区のその他のサークルについて>

- ・ほうじゅ会（民生委員主催の月 1 回の給食会）
- ・ゆたかクラブ（月 2 回開催の高齢者自立支援）
- ・クローバー（住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らすための介護予防運動の会）
- ・豊が丘グラウンドゴルフクラブ（毎週土日に中段公園などで試合）
- ・ユーアイサロン（社会福祉協議会からの助成金で洋裁や麻雀などの活動をするグループ）

2 意見交換の主なやりとり

<質疑応答>

○麻雀の話があったが、現在もやっているか？私の学区でもやりたいという声が多数あるが、コロナ対策のため断るのに苦慮している。

→手指の消毒等を徹底した上で開催している。

○参加者が固定されてしまわないように、案内状を出す以外に広報に関して何か工夫している点はあるか？

→なごやかクラブの会員もだんだん減ってきているような状況なので、非常に難しい問題である。私も友愛クラブをいつまで開催できるか心配しているところである。

○学区内で多彩なイベントを開催していらっしゃるが、担い手の人材発掘について取り組んでいることがあれば教えて欲しい。

→これも大変難しい問題である。学区内には色んなイベントやサークルがあって、それぞれ取り組んでいるので、そういう方々にお声がけをして輪を広げている。

○会場がコミセンでなく、藤の木団地集会所で開催していらっしゃるが、藤の木団地の住人の方以外へ周知するにあたり工夫している点はあるか？

→チラシはカラーで印刷するとともに、イラストや写真を多用してイメージがわかりやすいようにしている。利用料や利用基準などの点でコミセンより藤の木団地集会所の方が使いやすいので、藤の木団地集会所を会場として利用している。

○20年もの長期にわたって続けることができた秘訣は？

→学区民以外にも緑区からわざわざ通って来られる方がいて、そういった友愛クラブを必要としてくれている存在が原動力になったのではないかなと思う。会長だけの力ではなく、周りの方の努力があってこそ続けてこられた。

3 まとめ

(コミュニティサポーター) 実際に12月12日の会に参加させてもらったが、20年も続いていた会なので、すでに関係が出来上がっているのではないかとドキドキしていたが、とても歓迎ムードで話しかけていただいて、スタッフの方の気配りを実感した。スタッフの方々も非常に楽しんで運営している様子がとても良かった。地域活動を継続する上では「できる人ができることをできるだけ」ということが非常に重要なので、今後も周りのスタッフの方が会長を支えながら無理のない範囲で継続されることを願っている。

(友愛クラブ会長) 区役所の職員の力を借りながら資料を作って、無事発表を終えることができた。本日は今年一番の寒い日にもかかわらずお集まりいただき、ありがとうございました。

(区長) 色んな分野で多彩な活動を楽しみながらなさっているのが素晴らしいと感じた。20年もの長きにわたって続けてこられたのは、会長を始めスタッフの方々の努力の賜物だと思うし、その姿を見て集まった参加者の想いが結実した結果だと思う。